

令和04年12月（第4回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 井上 真砂美 議員

1 オンライン授業の位置づけについて

- (1) 学級や学年閉鎖時のオンライン授業はどこまで進んでいるのか。
- (2) 不登校児童・生徒へのオンライン授業はどこまで進んでいるのか。
- (3) 学校以外の場での評価はいかがか。
 - ・適応指導教室「おおくす」
 - ・校外学習等
 - ・派遣や部活動、留学等
- (4) オンライン授業受講者への評価を行うのにどのような課題があるのか。

2 「まちづくり人」の参画者を増やす方策

- (1) 市内の魅力ある「フォトジェニックスポット（インスタ映え）」を募集するなどしてはいかがか。
- (2) フォトジェニックスポットや寺・神社・公園等への関心を持つ目的で、「スタンプラリー」をしながら巡る企画をしてはいかがか。

3 夢さくら公園の休憩所の維持管理について

- (1) 休憩所1階の壁に、注意事項の掲示がしてあるというのは利用者に問題があるのか。
 - ・鍵へのいたずら防止
 - ・建物内での遊びに対する注意喚起
- (2) 建物の壁はどのような素材でできているのか。
- (3) 外につながる壁の強度を高めるために、外壁仕様に変えることはできないのか。

2 黒川 武 議員

1 民主主義の危機について

- (1) 投票率の向上について問う。
 - ① なぜ10代の投票率は低いのか。
 - ② 選挙管理委員会の取組について問う。
 - ③ 投票率の向上策はあるのか。
- (2) 主権者教育の在り方について問う。
 - ① 主権者教育について、どのように考えるのか。
 - ② 発達段階に応じた主権者教育を求める。
 - ③ 18歳有権者への主権者教育について問う。

- ④ 選挙管理委員会及び明るい選挙推進協議会と教育委員会の連携について問う。
 - ⑤ 第5次総合計画、教育大綱及び教育振興基本計画での位置づけが必要ではないか。
- (3) 市政への市民参加について問う。
- ① 市民参加条例について問う。
 - ② 市民討議会は活用されているのか。
 - ③ 市民の政策提案制度は活用されているのか。
- (4) 住民投票条例について問う。
- ① 市民参加の市民討議会で議論してはどうか。

2 続「気候の危機」について

- (1) 気候市民会議について問う。
- ① 「気候変動＋市民参加＝気候市民会議」を開催してはどうか。
 - ② 気候若者会議について問う。

3 大野 慎治 議員

1 雨水調整池の現状と今後の課題について問う

- (1) 現状の効果について問う。
- (2) 検証をどのように行っているのか。
- (3) 今後の整備計画は。

2 石仏公園の整備計画と今後の課題について問う

- (1) 埋蔵文化財の調査範囲は。
- (2) 現状の施工計画はどのようなのか。
- (3) 現在、石仏スポーツ広場を使用しているスポーツ関係団体等への配慮をどのように行うのか。

3 共生社会の実現に向けて問う

- (1) 共生社会とは。
- (2) 共生社会の実現を目指すための取組は。
- (3) 共生社会の実現を目指す条例を制定するべきではないか。

4 パートナーシップ宣誓制度の実現に向けて問う

- (1) パートナーシップ宣誓制度に対する認識と導入推進の課題等を含めて見解は。
- (2) 誰もが安心して、住みやすい岩倉市にするためにパートナーシップ宣誓制度を導入するべきではないか。

5 小中学校の樹木の剪定について問う

- (1) 樹木の剪定の頻度は。

(2) 定期的な剪定等が必要ではないか。

4 梅村 均 議員

- 1 受験生へのインフルエンザワクチン接種の補助を
- 2 職員の名札表記についてはフルネームから平仮名の名字のみに変更を
- 3 歳入歳出差引額（前年度繰越金）の適正額の目安は、また、最大限活用されているか
- 4 市内全域対象の街全体桜まつり構想を（市の花木「さくら」にちなんだ取組を）
 - (1) 五条川沿いへの植え替えは苗でも良いのでは。
 - (2) 定期的な市民への苗の配布や公共空間への桜の植樹はできないか。
 - (3) 広報紙等での市民の桜情報コーナーを作ってはどうか。
- 5 五条川に架かる橋の拡幅による賑わい空間を

5 梶谷 規子 議員

- 1 高齢者の補聴器購入助成を
 - (1) 難聴を放置することが認知症の最大のリスクへの認識は一致。そこからどう、研究・検証されてきたか。
 - (2) 全国の自治体で助成制度が広がってきている状況をどう見ているか。
 - (3) 健診時に聴力検査を。
- 2 学校給食費ゼロに
 - (1) コロナ禍の中、物価高騰の中、保護者負担の強化を押しつけていいのか。
 - (2) 憲法26条から考えても無償にすべき。
 - (3) 「子ども条例」から見ても無償にすべき。
 - (4) 「子育てNo. 1の岩倉市に」の市長マニフェストからも、無償にするべきではないか。
- 3 市民参加で食料・エネルギーの地産地消を
 - (1) 食料の地産地消を。
 - ① 農業者と消費者との連携を強化する体制づくりを。
 - ② 若手農業者育成の強化を。
 - ③ 福祉分野との連携を。
 - ④ 脱炭素化につながる有機農業の推進を。
 - (2) エネルギーの地産地消を。

- ① 再生エネルギーの普及をどう進めるか。
- ② 市民参加をどうつくり上げていくか。農業とエネルギーのコラボで持続可能な事業を。
- ③ カーボンゼロ宣言を。—市長自らが脱炭素社会に向けて前向きな姿勢を示すために—

6 木村 冬樹 議員

- 1 ジェンダー平等、多様性を尊重する社会を目指して
 - (1) 第5次総合計画や男女共同参画基本計画に掲げられている基本目標や施策の進捗状況はどうか。
 - (2) 近隣市で動きのある同性パートナーシップ・ファミリーシップ制度への考えはどうか。
 - (3) 近隣市で導入が進む中学校の制服選択制への考えはどうか。
- 2 市民の交通権を保障した地域交通政策を
 - (1) ふれ愛タクシー事業の課題をどう捉えているか。
 - (2) 運行日時、利用料金、運行区域、乗降場所について見直すべきではないか。
 - (3) 巡回型コミュニティバス運行の検討を始めるべきではないか。
 - (4) 「交通まちづくり条例」を制定できないか。
- 3 マイナンバーカード普及への政府の圧力をどう考えるか
 - (1) 直近のカード交付状況は交付円滑化計画から見てどうか。
 - (2) 市内におけるマイナ保険証の利用状況はどうか。
 - (3) 2024年秋に健康保険証廃止という政府方針をどう見るか。
 - (4) カード交付率に応じて地方交付税算定に差をつけるなど、政府の動きをどう見ているか。
- 4 来春の統一地方選挙の投票率向上を目指して
 - (1) 投票者の意思を尊重した開票立会人制度になっているか。
 - (2) 投票受付等業務人材派遣委託に問題はないか。
 - (3) 7月の参議院選挙における投票所別の投票率をどう分析しているか。
 - (4) 改めて期日前投票所の拡充と投票区域の見直しを求める。

7 鬼頭 博和 議員

- 1 災害時の避難所対策について
 - (1) 防災訓練等での避難所運営の訓練はどのように行っているのか。

- (2) 災害時の電力供給として、自動車メーカーの販売店等と連携し電気自動車を無償貸与する応援協定を結んではどうか。
- (3) ペット同行で避難できる指定避難所はどこなのか。また、受入れできる動物の種類は決まっているのか。
- (4) ペット同伴避難（同室避難）について検討すべきではないか。

2 フードドライブの推進について

- (1) フードドライブ実施についての現状は。
- (2) 実施拡大に向けた検討を求む。
- (3) 民間事業所（コンビニ等）と連携してフードドライブを拡大してはどうか。

3 児童生徒の心のサポートについて

- (1) 本市の児童生徒の心の状態はどのような方法、頻度で調査されているのか。また、調査結果はどのように活用されているのか。
- (2) コロナ禍において、よりきめ細かな心のケアにどのように取り組んでいるのか。
- (3) 全小中学校の教員を対象にしたゲートキーパー研修を実施してはどうか。
- (4) タブレット端末に自殺リスクを早期に予測できる精神不調アセスメントツール（RAMPS）を導入できないか。

8 堀 巖 議員

1 スマートインターは、岩倉市民にとって必要なのか

- (1) 発端は誰の提案なのか。そこに多数の市民ニーズは存在しているのか。
- (2) 企業からヒアリングしたということだが、その内容・記録は、存在するのか。
- (3) 全国で150箇所ほどあるスマートインターの中で、既存のインターから1.8キロメートルという至近距離にあるものは存在するのか。
- (4) スマートインターの便益を受けるのは、主に企業であると考えますが、その便益を概算する必要があるのではないか。
- (5) 大型車が入り出できるスマートインターが前提となるが、その場合の総工費は、普通車のみの場合と比較すると費用が大きいかさむ。全国150箇所あるスマートインターの中で大型車が通行できるものはどれほどあり、その総工費の平均はどのくらいか。
- (6) 以前は、一宮市・江南市・岩倉市の3自治体で進める計画が、江南市が抜け2市での計画に変わった。費用負担をどう考えるのか。
- (7) 大型車が通行できるとなると、地域の交通事情も変化する。地域住民との協議・調整は計画が出来上がる前に必要ではないか。日進市の前例を学ぶべきではないか。

2 性的少数者への理解促進・性の多様性及び性的マイノリティ（LGBTQ）に関する理解促進はどのように進んでいるのか

- (1) 職員や教育現場の研修は、どのようか。

- (2) 学校における児童・生徒への理解促進はどのようなか。
 - (3) だれでもトイレ・ジェンダーレス制服を考える時期に来ているのではないか。
 - (4) パートナーシップ制度に対する考えは、現在、どのようなか。
 - (5) 誰も不幸になることがないパートナーシップ制度を進めるべきではないか。
- 3 農薬・化学肥料の使用低減、有機農業の拡大の観点から、みどりの食料システム戦略について問う
- (1) 令和4年7月1日に施行された「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（みどりの食料システム法）」をこの観点からどのように評価するのか。
 - (2) 地方自治体の責務をどのように認識し、今後どうしていくのか。

9 谷平 敬子 議員

- 1 生ごみの資源化について
 - (1) 可燃ごみの中の生ごみの比率と各家庭から出る生ごみの量はどれほどか。
 - (2) 各自治体のコンポスト補助や利用促進状況はどのようなか。
 - (3) 生ごみの資源化加速のためにコンポスト普及を求む。
- 2 子宮頸がんワクチンの定期接種化対応について
 - (1) 今年度、直近の接種人数は。
 - (2) 9価の子宮頸がんワクチンの効果について市民周知はどのように行うのか。
- 3 帯状疱疹ワクチン接種について
 - (1) 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成について県内の状況はどのようなか。
 - (2) 本市においても帯状疱疹ワクチン接種の助成を求む。
- 4 選挙支援カードについて
 - (1) 代理投票の人数はどのように推移しているのか。
 - (2) 障がい者や高齢者のために選挙支援カードの導入を求む。

10 水野 忠三 議員

- 1 リスキリングについて問う
 - (1) いわゆる「リスキリング」についての認識は。
 - (2) リスキリングに関する国や愛知県の最近の動向は。
 - (3) 本市の職員等へのリスキリングに関する取組は。
 - (4) 市民のリスキリングに対する支援等について、現状及び今後の取組は。

2 運転免許証の自主返納について問う

- (1) 本市における運転免許証の自主返納の現状は。
- (2) 国や愛知県の取組等についての認識は。
- (3) 本市において、高齢者等の自主返納をさらに促進する必要性はあるか。
- (4) 自主返納した市民へのさらなるサポートとして、今後の取組は。

3 火災の際の消火活動及び音波消火に関連して問う

- (1) 消火の際の方法等について、現状は。
- (2) 本市の消防における技術や装備上の課題は。
- (3) 水や薬剤を使わずに音波等で火を消す、いわゆる「音波消火器」についての認識は。
- (4) 小中学校の防災教育や市民向けのイベント等で、音波消火などの新しい技術や知見等は活用できないか。
- (5) 火災現場などででの実際の消火活動の際に、音波消火などの新しい技術や知見等は、将来的に利用できるか。

4 市民の声を傾聴することについて問う

- (1) 本市の「傾聴」について、現状認識は。
- (2) 市民の「話を聞いてもらえた」という満足度をアップするためには何が必要か。
- (3) 本市の職員等のスキルアップやチームワーク向上のための取組は。
- (4) 「市民の声」を受ける側の職員等のストレスや悩みを軽減・解消するための取組は。
- (5) 市民の話を、市民の立場に立って、市民の気持ちに共感しながら理解しようとするためには、今後さらに何をすべきか。

5 「短期思考から長期思考へ」という観点から市政について問う

- (1) 本市の最上位計画である「岩倉市総合計画」の「10年間」という期間についての認識は。(さらに長期間の計画・ビジョン等は必要か。)
- (2) 予算等の「単年度主義」についての認識は。
- (3) レガシー・マインドセットとして、「後世によく語り継がれる」市政とは。
- (4) 市政における「世代間の公正」について見解は。
- (5) 市政においても、人間の寿命を超えたプロジェクトの計画や全体論的(ホリスティック)な未来予測も必要ではないか。
- (6) 今後の市政において、「どうしたら、よき祖先になれるか」という命題にどう応えるか。

11 関戸 郁文 議員

1 民生委員・児童委員の担い手確保について問う

- (1) 民生委員制度の概要について問う。

- ① 身分、配置基準、委嘱方法、委嘱数はどのようなか。
 - ② 職務中の事故などの取扱いはどのようなか。
 - ③ 活動経費などはどのようになっているのか。
- (2) 活動内容について問う。
- (3) 現状と課題について問う。
- ① 負担軽減への対応は行われているか。
 - ② 個人情報の取扱いはどのようなか。
 - ③ 周知不足ではないか。
 - ④ 児童委員の活動増加に対応できているか。
- (4) 担い手不足解消のための施策はあるのか。

12 片岡 健一郎 議員

1 来年度以降の岩倉桜まつりについて

- (1) 雑踏事故対策についてどのように考えているか。
- (2) 右岸と左岸で一方通行の区域を設けてはどうか。
- (3) 桜まつり期間中の夢さくら公園の有効活用をどのように考えているか。
- (4) 夢さくら公園を市内事業者の出店可能エリアとしてはどうか。
- (5) 記念撮影用ボードやインスタグラム風パネルなどのフォトスポットの設置で、SNS拡散を利用した広報を推進してはどうか。
- (6) 代替木のジンダイアケボノの生育状況を問う。
- (7) 植え替えの長期的な計画を立ててはどうか。

2 今後の道路整備について

- (1) 夢結橋西の交差点改良について、その後の進捗状況を問う。
- (2) 夢結橋西の交差点に信号の設置ができなくとも道路の形状改良だけでも進められないか。
- (3) 一宮春日井線、西への延伸の進捗状況と岩倉市としての今後の整備方針はどうか。
- (4) 北部地区の渋滞緩和、生活道路への流入防止及び産業系拡大検討ゾーンとの関連性を含め早期延伸を求む。

3 スマートインターチェンジについて

- (1) 候補地の選定が発表されたが、スマートインターチェンジの名称について、岩倉を含める考えはあるか。
- (2) 設置に伴い地元自治体が負担すべき工事区間はどのようなになるのか。
- (3) 一宮市との負担割合は折半が望ましいと考えるが当局の見解はどうか。